

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

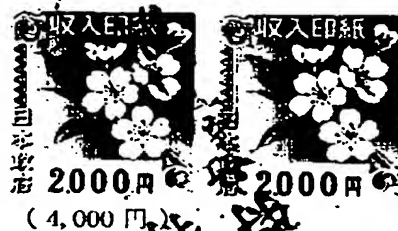
Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**



実用新案登録願 (20)

昭和 55 年 7 月 11 日

特許庁長官殿

適

1 考案の名称
トリツケノウチ
スピーカ取付装置

2 考案者

住所 大阪府門真市大字門真1006番地
松下電器産業株式会社内
氏名 ヤマシゲオ
山 路 茂 男

3 実用新案登録出願人

住所 大阪府門真市大字門真1006番地
名称 (582) 松下電器産業株式会社
代表者 山下俊彦

4 代理人 〒571

住所 大阪府門真市大字門真1006番地
松下電器産業株式会社内
氏名 (5971) 弁理士 中尾敏男

(ほか 1名)

〔連絡先 電話(東京)437-1121 特許分室〕

5 添付書類の目録

- (1) 明細書
- (2) 図面
- (3) 委任状
- (4) 願書副本

1 通
1 通
1 通
1 通
式
審
査



55 098190

23679

1、考案の名称

スピーカ取付装置

2、実用新案登録請求の範囲

テレビジョン受像機本体、スピーカボックスにおのおのパイプ状の固定具を固定するとともに、略L字状をなす支持具を設け、この支持具の両端を前記各固定具におのおの挿入し、固定するとともに、前記支持具の各固定具への挿入角度を変えらることによりスピーカボックスの位置が変えられるように構成してなるスピーカ取付装置。

3、考案の詳細な説明

本考案は、たとえばスピーカを内蔵しないテレビジョン受像機に適用できるスピーカ取付装置に関するもので、スペース的に有利で、かつより迫力ある音声を得ることができるようにしたものである。

以下本考案をその一実施例を示す添付図面を用いて説明する。第1図に全体の構成を示す。本考案ではL字状をなす支持金具1，2を一对設け、

この支持金具²1, 2の一端をテレビジョン受像機本体3の後面に矢印方向に移動可能に取付け、一方支持金具1, 2のおのおの他端にスピーカボックス4, 5を矢印方向に移動可能に取付けている。この結果、第1図に示すように一方のスピーカボックス5で説明すると、スピーカボックス5を実績の位置はもちろん、二点鎖線で示す他の3ヶ所の異なる位置にも配置することができる。

すなわち、テレビジョン受像機本体3に対して支持金具2の一端を収納するか、引出すか、またスピーカボックス5に対して支持金具2の他端を収納するか、引出すかによって計4種類の異なる配置が可能になるわけである。もう一方のスピーカボックス4に対しては図示していないが、もちろんこのスピーカボックス4も前記スピーカボックス5と同様に設定できるものである。

第2図～第5図にその構成を詳細に示す。図示するように前記支持金具1, 2は矩形状のパイプをなし、またスピーカボックス5の背面、テレビジョン受像機本体3の背面にもおのおの矩形状の

パイプをなす固定金具 6, 7 を固定している。このとき、支持金具 1, 2 は固定金具 6, 7 の中へ自由に挿入できる大きさとしている。

この固定金具 6, 7 のおのあのテレビジョン受像機本体 3、スピーカボックス 5 への取付けは、第 5 図に示すように、一面にビス 8 の頭部より径大の開孔 9 を複数設け、この開孔 10 と対向してビス 8 のねじ切り部のみ通過させるねじ用孔 10 を設けておき、このねじ用孔 10 を設けた面をテレビジョン受像機本体 3、スピーカボックス 5 におのあの当て前記開孔 9、ねじ用孔 10 を通してビス締めを行って固定する。また、各固定金具 6, 7 の前記開孔 9 を設けた面には、ビス 11 が螺合する孔 12 を設けている。

支持金具 1, 2 の固定にあつてはテレビジョン受像機本体 3 の固定金具 6、スピーカボックス 5 の固定金具 7 内におのあの支持金具 1, 2 の一端、他端を挿入して、ビス 11 を孔 12 に螺合せしめることにより、ビス 11 にて支持金具 1, 2 を圧接して位置決めする。上記したようにこの支持金

4

具1, 2の各固定金具6, 7への挿入度合を変え
ることにより、第1図のようにスピーカボックス
4, 5の位置を種々変えることができるわけであ
る。

以上のように本考案によれば、スピーカボック
スのテレビセット近傍での自由なレイアウトがで
きる。また、スピーカボックスを壁面に取付ける
ことも考えられるが、部屋の構成より取付場所に
制限ができてしまい、また床にテレビセットと隣
接しておくことも考えられるが、スペース上不利
であるという問題がある。本考案によればこれら
の欠点を一掃することができる。さらに、テレビ
セットを移動する場合、スピーカボックスも一体
で移動させることができる等、実用上価値の極め
て高いものである。

4、図面の簡単な説明

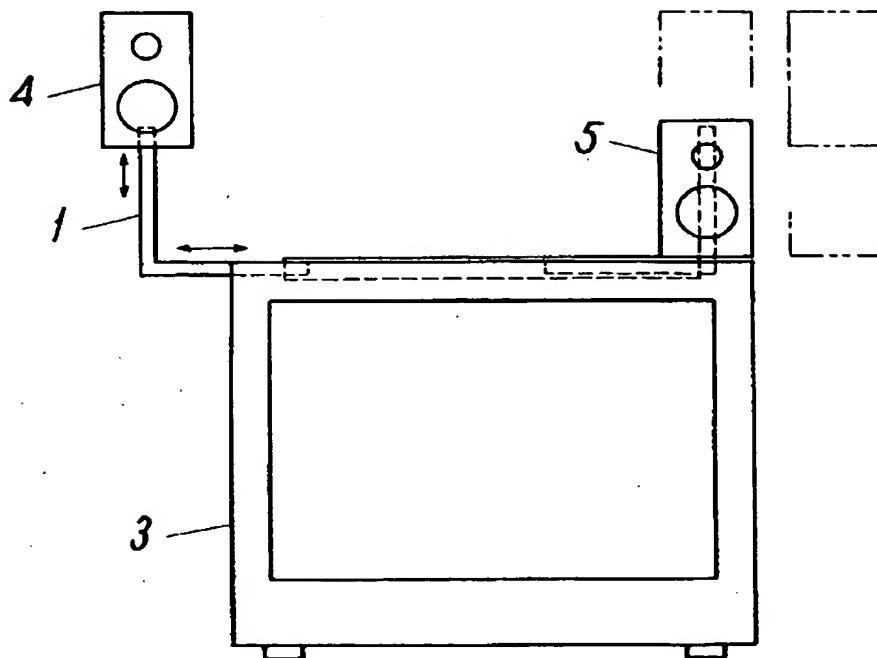
第1図は本考案の一実施例におけるスピーカ取
付装置の正面図、第2図は詳細な構成を示す背面
図、第3図、第4図はおのこの要部の斜視図、第
5図は固定金具の取付方法を説明するための図で

ある。

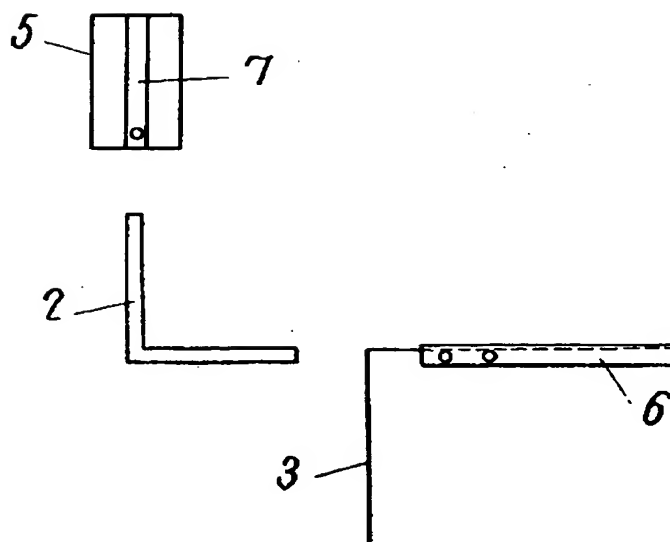
1 , 2 …… 支持金具、 3 …… テレビジョン受像
機本体、 4 , 5 …… スピーカボックス、 6 , 7 ……
… 固定金具。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

第 1 図



第 2 図



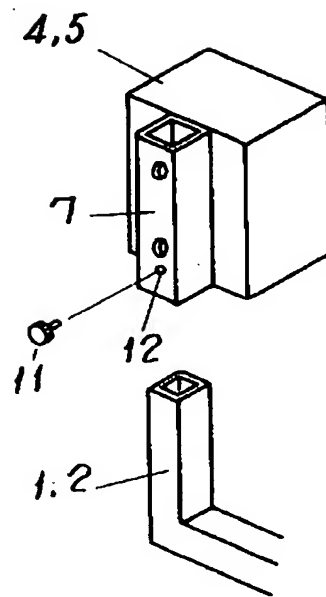
代理人の氏名

弁護士 中 尾 敏 男

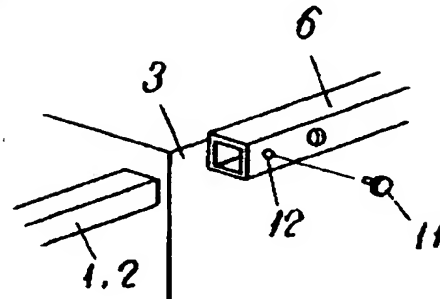
ほか1名

23679 $\frac{1}{2}$

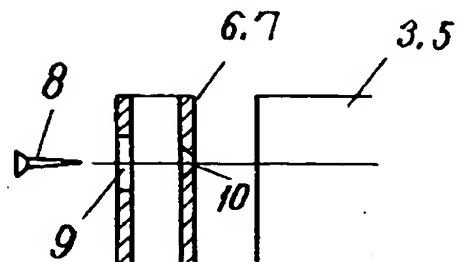
第 3 図



第 4 図



第 5 図



代理人の氏名

弁理士 中 尾 敏 男

ほか1名

23679²/₂

6 前記以外の代理人

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
松下電器産業株式会社内
氏 名 (6152) 弁理士 栗 野 重 孝

